

区政会議における意見への対応状況

資料3

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
1	H30.6	栗田 委員	<p>(地域活動)</p> <p>・担い手不足の解消について、地域振興会では担い手がだんだん減ってきている。単一町会では老人会がなくなったり、単一町会が解散するというようなことが起きるかもわからないという事情がある。(区として)どうい対策を持っているのか。</p> <p style="text-align: center;">【30年度 第1回区政会議】</p>	<p>・本市では、地域コミュニティ活性化のために、地域活動協議会への支援とあわせて、自治会・町内会への支援も進めています。</p> <p>・当区では、自治会・町内会への加入を促進するために、地域活動紹介チラシを転入者バックに入れ、転入者に配付するほか、大阪府宅地建物取引業協会北支部、全日本不動産協会大阪府本部北支部と協定を結び、加盟店舗に同チラシの配架・配付を依頼するなど、地域活動の担い手不足の解消につながるよう取組を進めています。</p>	①	—
2	H30.7	玉川 委員 森本 委員	<p>(地域活動)</p> <p>・区民アンケートの結果で、地域活動協議会の認知度が低い。(地域の活動が)見やすく分かりやすい発信、広報を考えていただきたい。</p> <p style="text-align: center;">【30年度 第1回区政会議】</p>	<p>・「市政改革プラン2.0(区政編)」では、地域活動協議会への支援の一つとして、認知度向上の取組を掲げています。</p> <p>・区役所では、広報誌やフェイスブックなどによる発信に加え、活動紹介チラシを作成し、転入者へ配付するなど新たな取組を進めています。</p> <p>・引き続き、まちづくりセンターと連携し、区民の皆様にはわかりやすく、より効果的な情報発信に取り組んでまいります。</p>	①	—
3	H30.6	田中 委員	<p>(防災)</p> <p>・6月18日に発生した地震では、都島駅周辺は多くの通勤・通学者であふれていた。帰宅困難者の二次災害というケースも考えられるため、啓発的なことを考えてほしい。</p> <p style="text-align: center;">【30年度 第1回区政会議】</p>	<p>・6月18日に発生した大阪府北部地震を受け、市役所全体で震災対策にかかる課題を抽出し、その対応策について現在、検討を進めているところです。</p> <p>・いただいたご意見については、市全体の方向性を踏まえつつ、今後、鉄道事業者とも連携し、公園等の一時避難場所へ誘導するなど、帰宅困難者の2次災害が発生しないよう啓発等に取り組んでまいります。</p>	①	—

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
4	H30.6	森本委員	(防災) ・災害時の避難所として、地域の福祉会館が利用されていたが、福祉会館の耐震工事にかかる費用は全部地域負担である。この部分について、考えていただきたい。 【30年度 第1回区政会議】	・福祉会館の耐震改修工事については、改修に要する経費の一部を補助するために大阪市地域集会施設改修整備補助金(1/2補助、上限110万円)があります。 ・また、老人憩の家と合築の場合は、同様の補助金として大阪市地域高齢者活動拠点施設(老人憩の家)改修整備補助金(1/2補助、上限110万円)がありますので、併せてご利用いただくことも可能です。 ・補助できる工事内容や申請方法など様々な条件がありますので、耐震改修工事をお考えの場合は、事前にご相談ください。	①	—
5	H30.6	南委員	(防災) ・通学路のブロック塀について、都島区でも学校等を調査されると思うが、子どもたちの通学路に、非常に危険なブロック等もある。それはどのように(調査、対応を)されていくのか。 【30年度 第1回区政会議】	・通学路に面したコンクリートブロック塀を有する学校施設については、教育委員会事務局が確認を行いました。その結果、既存不適格のものについて、平成30年度の9月補正予算、平成31年度予算等により予算措置し、優先順位の高いものから順次改修することとなりました。 ・当区では、都島小学校、内代小学校、桜宮中学校が30年度に対策を完了し、高倉小学校、桜宮高校、東高校は30年度から31年度に掛けて改修を行います。また、大東小学校、淀川小学校、都島工業高校は平成31年度、校舎改築中の都島中学校、淀川中学校については、改築工事に合わせて改修する予定です。	①	—
6	H30.6	田矢委員	(防災) ・(地震等で)被害が大きいところの区長は、教育委員会よりも優先的に情報を発信できないのか。 【30年度 第1回区政会議】	・今回の地震のように、市災害対策本部が設置されると、市長を本部長に、区役所や教育委員会もその統治下におかれます。区長は、区の災害対策本部長として、区内の災害対応にあたることとなりますので、優先して指示を出すことは可能ですが、必要な指示を出すにあたって、市本部と必要な情報の共有・判断を行うとともに、学校園とも必要な連携は実施してまいります。 現在、市役所全体で震災対策にかかる課題を抽出し、その対応策について、検討を進めているところです。当区におきましても、市全体の方向性をふまえつつ、学校園との連携を密に、必要な情報の発信や災害対応に取り組んでまいります。	①	—

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
7	H30.6	寺川委員	<p>(区将来ビジョン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の問題提起に対して、「日常の目線」と「未来の視線」を両輪として組み込むことが大事。大きな社会の動きの中での区の有りようという観点が必要となってくるのでは。 ・すべてを行政が行うには限界がある。面白い活動をする人がいたら、それを行政は支援あるいはマネジメントするといった、情報の入手・発信の仕方を目玉に加えてもいいのでは。区役所力の強化に、「区民力の強化」という側面も組み込まれたらより良い。 <p>【30年度 第1回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、区将来ビジョンにおいて、2020年度に向けた取組の方向性に基づいて、各年度の具体的な取組を区運営方針でお示しています。引き続き、区民のニーズの把握に努め、取組を進めてまいります。 ・当区では、地域等での活動事例を区広報誌内のコーナー「わがまち都島」にてご紹介するとともに、SNSでシェア(投稿の連携)を行うなど、地域の情報発信に積極的に取り組んでいます。ご意見をふまえ、地域における活動を促進するとともに、効果的な情報発信に取り組んでまいります。 	①	—
8	H30.10	森本委員 江川委員	<p>(生活習慣予防)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な人に検診に行っていただけるよう、いろんな広報を使って周知し、地域とも協力しながら取り組んでみては。 ・移動可能な測定機械があれば、人の集まるコミュニティスペースなどで検診をすることで、来た人にも多く受けてもらえるのでは。 <p>【30年度 第1回健康・福祉部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防のためのがん検診や特定健診の周知や啓発については、主に広報誌などにより取り組んでいるところですが、今後もフェイスブック等による周知や、地域での出前講座など様々な場を活用し取り組んでまいります。 ・移動可能な測定機器により出張での検診等が可能かどうか、検討してまいります。 	⑤	—
9	H30.10	日野委員	<p>(区地域福祉ビジョン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のなかには介護が必要な方であっても、とても器用で生産力のある方もいらっしゃる。手つむぎの糸や織りなど高い付加価値が付くものを作ることができるかもしれないので、それを個展を開催して販売するなどやりがいにつながるような取り組みを区としてできないか。 <p>【30年度 第1回健康・福祉部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に生きがいや役割を持って生活していただくことは、地域福祉を推進するうえでも非常に重要であると認識しています。高齢者にそういった生活を送っていただくための仕組みづくりなどについては、引き続き、検討してまいります。 	⑤	—

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
10	H30.10	江川委員	<p>(区地域福祉ビジョン)</p> <p>・地域における見守り体制の強化のためには若い世代やマンション住民なども含めた幅広い人とのつながりづくりが重要とあるが、今行っている取り組みはうまく若い世代に届いていないのではないかと。</p> <p>【30年度 第1回健康・福祉部会】</p>	<p>・地域福祉の課題解決には、これまで地域福祉活動への関わりが薄かった人たちをはじめ、あらゆる世代の住民のみなさまに地域全体で取り組んでいただくことが重要であることから、ホームページ・SNSを活用するなど、あらゆる世代の方に効果的に情報発信できるよう取組を進めてまいります。</p>	⑤	—
11	H30.10	玉川委員 田中委員	<p>(グローバル人材育成)</p> <p>・非常にいい事業だと思うが、参加者が少ない。テーマは非常に有意義なので、あとは子どもにいかに関心を持たせるかが重要。子どもたちにとって区役所は会場として行きづらい場所なので、例えば、民間と協力できるのであれば、英会話教室等、会場というか教室みたいなところを使用してはどうか。</p> <p>【30年度 第1回教育部会】</p>	<p>・小学生対象の事業(平成30年8月25日開催)は、本市事業「イングリッシュ・デイ」と同日となった影響も考えられますが、いずれにしても参加者が少なかったため、あらためてPRの方法やプログラムについて考える必要があると認識しています。</p> <p>特に中学生については、各校で放課後に開催する等、実施方法や場所も含めて検討します。</p>	②	<p>【31年度運営方針における関係取組】</p> <p>具体的取組3-2-2</p> <p>グローバル人材育成事業</p> <p>31年度予算額 1,271千円</p>
12	H30.11	寺川委員	<p>(広報)</p> <p>・目玉(事業)をどううまく機能させるか。イメージしやすいメッセージを出していったほうがより区民の皆さんもわかりやすくなる。もう一歩先に踏み込めるようなメッセージ性があったほうがいい。</p> <p>【30年度 第2回区政会議】</p>	<p>・重点的に取り組む施策について、運営方針においてお示ししてまいりました。また、具体的な取組を広範にまとめた「みやこじまレポート」を作成するなど、読みやすさを意識した情報発信に取り組んでまいりました。</p> <p>・ご意見をふまえ、重点的に取り組む施策を中心に、ホームページやSNS等、様々な媒体を活用し、区民のみなさまにとって、よりわかりやすい情報発信に努めてまいります。</p>	②	—

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
13	H30.11	寺川委員	<p>(コミュニティ豊かなまちづくり)</p> <p>・地活協はこの間、なかなか機能しにくい中で、もう一歩進んで何をするか、区民の方々にもどうやって知っていただくか、その点を見える化してわかりやすいメッセージ性があったほうがいい。同時に地活協の方々の負担を軽減したり、もっと地域に暮らす人とか、区民だけではなくて多様な方々が参加できる仕組みとしてコミュニティをもう少し幅広く見ていくことも今後必要では。</p> <p>【30年度 第2回区政会議】</p>	<p>・地域活動協議会の意義や取り組みについて、これまで広報誌やチラシ等で周知してまいりましたが、広く区民に認知されるには時間を要するため、引き続き有効な手法を検討しながら、広報活動の充実を図ってまいります。</p> <p>・当区における地域活動の現状は、町会をはじめ、従来から地域活動に取り組まれているみなさまによって維持されており、地域課題の拡大等に伴って、その負担は増加しています。このような状況を解消するため、区役所ではまちづくりセンターと連携し、物資の提供や協賛、広報協力等について、企業やNPO等に対し働きかけを行っております。引き続き多様な主体との連携・協働を促進し、それぞれの特性を地域活動に活かしていけるよう取り組んでまいります。</p>	①	—
14	H30.11	寺川委員	<p>(コミュニティ豊かなまちづくり)</p> <p>・企業に何かしてもらおうというふうには考えがちなが、お願いしますというよりは、むしろ一緒にやる環境をつくることもこれから大事になってくる。特に防災は企業にとっても大事なテーマなので、地域とどうつながるか企業との存在意義にもつながる。</p> <p>【30年度 第2回区政会議】</p>	<p>・ご意見をいただきました防災対策については、大阪市防災・減災条例において、本市、市民及び事業者がそれぞれの責務と役割を果たし相互に連携を図りながら協力することとされています。ご意見に対する取組の一つとして、当区では、企業等の人的、物的資源を活かした「大規模災害時における協力事業所登録制度」や「津波避難ビル」への協力等の連携に努めているところです。</p> <p>・今後とも、多様化する地域課題の解消に向け、まちづくりセンターと連携し、市民活動団体、NPOや企業等多様な活動主体間の連携協働を促進してまいります。</p>	①	—
15	H30.11	田中委員	<p>(学校運営)</p> <p>・大阪市は、条例に基づいて各学校に学校協議会を置いているが、学校を評価するための組織でしかなく、本来(中心)の子どもが置き去りにされている面もあるのではないか。</p> <p>【30年度 第1回教育部会】</p> <p>・学校協議会は各地域の長であったりとか学校長だけが協議会に参加するのではなくて、より多くの方が絡めるような形をとることによって地域とのコミュニティも深まっていくのでは。</p> <p>【30年度 第2回区政会議】</p>	<p>・制度として本市はまだそのような枠組みになっていませんが、子どもたちの声を反映させるための工夫としては、委員を増やしたり、アンケートを活用して事前に意見を集約するなど、さまざまな方法が考えられます。学校協議会は各校が運営を行っていますが、区役所も出席していますので、そのような視点をもってこれからも進めていきます。</p>	⑤	—

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
16	H30.11	辻上委員	<p>(学習支援事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの居場所として、子ども食堂の話が出たが、そういう保護者が安心して子どもを預けられる居場所をもっと作って周知していけばいいのではないか。 <p>【30年度 第1回教育部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> (子ども)食堂を3カ所、無料のコミュニティスペースをやっているが、宿題カフェみたいなことをやってほしいという要望がすごくある。(区の)学習支援事業は学校での延長なので、地区ごとに元先生など勉強を見れる人に、例えば宿題を見てもらうようなところを(事業として)やるのは難しいのか。 <p>【30年度 第2回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> この「学習支援事業」は、小学校の放課後に民間事業者による学習指導を想定しているものですが、例えば、地域の方にサポートいただく子ども食堂や寺子屋的な学習支援等も同様に重要と認識しています。 ご意見について、他区で進めている事業を参考にしながら今後検討してまいります。 	③	—
17	H30.11	寺川委員 江川委員	<p>(淀川連絡線跡地の利活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑という軸が繋がって行って、まちをつなげていく軸になると、循環する軸になるということ、防災性能も高まり、子どもの遊び場、教育の視点にもなるという意味でも非常に期待したい。 <p>【30年度 第2回区政会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 淀川連絡線跡地の利用について、「ぶっちゃけ！都島」みたいな(トークイベント)をやしてほしい。 <p>【30年度 第3回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「緑を軸にしたまちづくり」コンセプトに沿って、子どものスポーツ・遊び場、緑のネットワークの創出など、民間活用も視野に入れた利活用を関係局と連携して検討を進めてまいります。 淀川連絡線跡地の利活用につきましては、26年に広く区民の皆様からご意見を募集し、その後も報告会等にてご質問やご意見などを伺ってまいりました。 現在、「ぶっちゃけ！都島」の実施予定はございませんが、今後も、区長出前講座など様々な機会、区民の皆様とのコミュニケーションを図ってまいりたいと考えています。 	②	淀川連絡線跡地の利活用 31年度予算額 3,354千円
18	H31.1	玉川委員	<p>(グローバル人材育成事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6年生はなかなか参加が難しいのではないかと思うが、低学年まで対象を広げれば参加者が増えるというものでもない気がする。せつかく予算をとって実施するのだから、もっと参加人数を増やす方を考えた方がいい。 小学校の月間スケジュールに載せてもらってはどうか。 <p>【30年度 第2回教育部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参加人数を増やす方策につきましては、ご指摘のとおり学校経由だけでなく、保護者の皆さんに直接伝えられるルートで広くPRしていけるように取り組んでまいります。また、少しでも保護者の目に留まるよう、各校のホームページ等への掲載や、保護者並びに児童向けに配付される月間スケジュールへの掲載についても、検討してまいります。 	②	【31年度運営方針における関係取組】 具体的取組3-2-2 グローバル人材育成事業 30年度予算額 1,271千円

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
19	H31.1	田中委員	<p>(広報)</p> <ul style="list-style-type: none"> 区役所ホームページのイベントカレンダーは見にくい。例えば色分けするなど、子ども向け、地域(住民)向け、高齢者向けなどでカテゴリ分けして示してはどうか。 <p>【30年度 第2回教育部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 区役所ホームページの「行事・イベントカレンダー」から「子ども・子育て情報ページ」へのリンクを行うなど、対象者にとって分かりやすい掲載を引き続き検討してまいります。 	②	—
20	H31.3	森本委員	<p>(つどいの場の体制整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 周知、告知をしていく中で、やはり参加したい方がたくさん来られるが、受け入れる人数が決まっていたり来たいと言われている声があるのに受け入れられない現状があり、体制整備を具体的にどういうふうにやっていくか、(行政も)協力して頂きたい。 <p>【30年度 第2回健康・福祉部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのつどいの場につきましては、都島区社会福祉協議会への委託事業である生活支援体制整備事業として、銭湯での居場所づくりや買い物弱者への支援などを進めています。 引き続き、生活支援コーディネーターと連携を図り、住民のみなさまのニーズの把握に努めてまいります。 	⑤	—
21	H31.3	森本委員	<p>(地域での見守り)</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政はみんな地域に言ってくるが受け皿は一つ。地域が回していけるか非常に不安と心配がある。行政も一緒になって考えて頂きたい。 <p>【30年度 第2回健康・福祉部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域における見守りについては、民生委員・児童委員や地域団体などが地域の実情に合わせた見守り活動を展開されています。 また、要援護者の見守りネットワーク強化事業として都島区社会福祉協議内に設置した見守り相談室や、住民に身近な相談窓口としての機能を担っている地域福祉コーディネーターがあります。 引き続き、身近な地域における見守り体制の強化に向け取り組みを進めます。 	⑤	【31年度運営方針における関係取組】 具体的取組2-2-1 地域福祉コーディネート事業 31年度予算額 13,012千円
22	H31.3	森本委員	<p>(区政会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今、痛ましい事件が話題になっている。こどもだけの虐待ではなく、お年寄りの虐待も含めて、(都島区として)今後どういうふうにやっていくのかということで、教育部会と健康・福祉部会の統一議案という形で検討して頂きたい。 <p>【30年度 第2回健康・福祉部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 頂きましたご意見につきましては、次回開催の区政会議において委員全体で共有の上、各部会で議題として取り扱われるよう調整を進めてまいります。 	①	—

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
23	H31.2	日野委員	<p>(防災)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 停電になった場合は、大きい病院、避難所等の電気(対策)はどういうふうに想定、設備を準備しているのか。 ・ 災害時、夏や冬の避難所は大変な生活になる。毛馬の閘門で水力発電の実験があったと思うが、都島区は川に三方囲まれているので、水力発電などを設置し、作った電力を避難所などで使える仕組みを考えて欲しい。 <p>【30年度 第3回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、避難所となる学校施設には、自家発電設備が設置されていないため、ガスボンベ式発電機を配備し、避難所運営における最低限の電源確保に努めています。 ・ ご意見のあった毛馬の閘門の水力発電の実験については、河川を管理する国の機関に確認したところ、そういった事実はなく、今後も予定はないと聞いております。 ・ 災害時の電力確保については、本市においても課題と認識しており、内部で検討している段階と聞いております。今後、区としても所管部局へ働きかけを行ってまいります。 ・ なお、夏や冬での災害発生時における、高齢者等の災害弱者への二次災害を防ぐため、避難所となる市内中学校のうち、各区につき1校エアコンを設置する予定です。(平成31年度:実施設計 平成32年度:設置) 	⑤	—
24	H31.2	森本委員	<p>(まちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都島区全体として、地域の紹介とか取り組みを、特に防災・防犯については広報で一緒になって警察、消防、そして地域、役所で区民の皆さんが共有して頂けるようなものにレベルアップしてほしい。 <p>【30年度 第3回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の取り組みにつきましては、これまでも区広報誌内のコーナー「わがまち都島」「都島Up-to-Date」でのご紹介をはじめ、SNS等を活用した情報発信に取り組んでいますが、引き続き、関係機関と連携しながら、情報発信に努めてまいります。 	①	—
25	H31.2	南委員	<p>(地域福祉コーディネーター事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉コーディネーターと民生委員の接点はあるのか。どこまで情報を共有できるのか。 <p>【30年度 第3回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉コーディネーターは各地域の福祉会館を活動の拠点にしており、民生委員が福祉会館に来訪することや、地域ケア会議などへの出席により情報を共有しています。個人情報の問題はありますが、独居の高齢者や障がいがある人など、気にかけておくべき住民の情報を共有しています。 ・ 今後も、地域福祉コーディネーターと民生委員の連携が円滑に進むよう、支援してまいります。 	⑤	<p>【31年度運営方針における関係取組】</p> <p>具体的取組2-2-1 地域福祉コーディネーター事業 31年度予算額 13,012千円</p>

※分類

- ①30年度において対応 ②31年度運営方針に反映または31年度に対応予定
 ③31年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
 ⑤その他